

■ (一社) 日本機械設計工業会 試験センター から

お申込みにあたってのお願い (個人) ■

1. 本人確認用顔写真について

令和3年度より「写真票」を廃止し、WEB申請時にデジタルデータの顔写真を提出していただくことになりました。

これにより写真票提出が遅れて受験できなくなる、などが防げます。デジタルデータの顔写真はスマホやデジカメで撮影した簡単なもので構いません。申請前に準備をお願いします。

2. 新型コロナウイルスの影響について

令和2年度に引き続き、3年度試験も不透明な部分がありますが、最大限試験実施に向けて進めます。会場変更など不測の事態が起きた場合はホームページやメール通知などですぐにお知らせする予定です。

各受験者の皆様も、日ごろから健康にご留意いただき試験当日を迎えられるよう準備してください。本試験のようなペーパーテストでは、会話で飛沫が飛ぶ場面もほとんどなく、感染リスクは小さいものと考えますが、可能な感染防止策として、試験当日は受験者各自でマスク着用、また体調がすぐれない場合は来場をお控えくださるようご協力をお願いします。

3. 令和3年度から2級科目改定実施

令和3年度から2級科目をより実践的な内容にするため、科目改定を実施します(問題の難易度は従来の2級レベルと変わることはありません)。2級受験希望者の皆様にはご理解ご協力をお願いします。

令和3年度 機械設計技術者試験 受験案内（デジタル個人申請用）

この案内は、デジタル個人申請を行う方対象の文書です。個人申請の場合は、Web上の個人申請ページから申請手続きを開始して下さい。

個人申請方法は、原則「デジタル個人申請」とし、パソコン・インターネットあるいは電子メールを使用することができない方は「書面申請」を承ります。書面申請を希望される方は、(一社)日本機械設計工業会宛（03-6222-9310）にお問合せください。

1. 試験の内容

(1) 受験区分

1級機械設計技術者

機械及び装置の基本仕様決定に必要な計算、構想図の作成等の基本設計業務を行える能力に達した技術者を対象とした試験を行う。

2級機械設計技術者

基本設計に基づき、機械及び装置の機能・構造・機構等の具体化を図る計画設計を行える能力に達した技術者を対象とした試験を行う。

3級機械設計技術者

機械や装置の詳細設計業務の補佐、並びに関連する製図などの業務を行える能力に達した技術者を対象とした試験を行う。

(2) 試験問題の形式

- 1 級 多肢選択式、記述、小論文
- 2 級 多肢選択式、記述
- 3 級 多肢選択式、

採点の都合上、マークシート方式を使用する場合があります。

(3) 試験科目

1級機械設計技術者

設計管理関連課題	機械設計に関わる管理・情報等に対する知識
機械設計基礎課題	機械設計の基本となる計算課題を含む知識
環境経営関連課題	機械設計の管理者として必要な環境・安全に対する知識
実技課題 (問題選択方式)	設計実務に関わる計算を主体とした問題が複数出題され、その中から指定された問題数を選択して解答
小論文	出題テーマから1つ選択し、1200～1600字程度の論文を作成

「実技課題」に関しては、出題・解答方式が変わりました。
平成27年度までの選択科目（産業機械・荷役運搬機械・化学環境機械）を「実技課題」と称し科目選択方式から問題選択方式へと変更しました。出題範囲は、産業機械・荷役運搬機械・化学環境機械以外の分野から出題される場合もあります。平成30年度より出題・解答方法は以下のようになります。

出題数 5問から 3問を選択して解答

2級機械設計技術者（※令和3年度より科目改定実施）

機械設計分野	機構学、機械要素設計、機械製図、関連問題
力学分野	機械力学、材料力学、関連問題
熱・流体分野	熱工学、流体工学、関連問題
材料・加工分野	工業材料、工作法、関連問題
メカトロニクス分野	制御工学、デジタル制御、RPA、自動化技術、他
環境・安全分野	環境安全の知識
応用・総合	機械工学基礎の設計への応用・総合

3級機械設計技術者

科 目	○機械工学基礎 機構学・機械要素、材料力学、機械力学、流体工学、熱工学、制御工学 工業材料、工作法、機械製図
-----	--

(4) 受験資格

受験をするためには、**来年3月の時点**で下表「受験資格一覧表」の実務経験を充たしていることが必要です。

受験資格一覧表

最終学歴		実務経験年数				3級
		1級		2級		
		直接受験	2級取得者	直接受験	3級取得者	
工学系	大学院・大学	5年	2級取得後、次年度から受験可能	3年	2年	実務経験不問
	短大・高専 専門学校	7年		5年	4年	
	高校・その他	10年		7年	6年	

- ※1. 職業能力開発大学校(旧職業訓練大学校)・高専専攻科・高度専門士は4年生大学卒業者として、また、同短期大学校(旧職業訓練短期大学校)は短大卒として扱います。(赤字部分は平成30年度より変更)
- ※2. 高校卒業後の職業能力開発校(旧職業訓練校)2年制卒業者は、専門学校卒として扱います。
- ※3. その他、受験資格に該当しない受験者の扱いについて審査委員会で適宜検討を行い決定します。
- ※4. 1級直接受験の場合、(一社)日本機械設計工業会指定の職務経歴書を提出していただき受験資格審査を受けていただく必要があります。

【1級直接受験手続方法】

上記「**受験資格一覧表**」の直接受験に必要な実務経験年数を満たしており、かつ、(一社)日本機械設計工業会(以降、工業会と記す)指定の職務経歴書を提出し、受験資格審査で受験資格を認められた者は2級資格取得後でなくても1級を受験することができます。1級直接受験手続の流れは、

1. 職務経歴書の提出→2. 審査料支払い→3. 資格審査→4. 審査結果報告→5. 受験資格承認
→6. 受験申請 (WEB 申請)

です。下記に1級直接受験手続きの詳細を記します

- ・ 当団体指定の職務経歴書の入手方法
工業会ホームページ <https://www.kogyokai.com/> に接続しダウンロードして下さい。
配布期間 令和 3年 7月 1日 ~ 9月 20日
- ・ 提出方法
郵送・宅急便・スキャナで画像化(PDF化)しEメール送付可
提出期間 令和 3年 7月 1日 ~ 9月 20日
- ・ 資格審査料 5,500 円(消費税込み。支払方法は別途マニュアル参照)
※資格審査料は、資格審査が承認されない場合でも返金はされません。
※支払手数料等は、審査提出者の負担です。
- ・ 審査結果通知方法
審査料の入金を確認次第、速やかに審査を行い原則Eメールで通知、希望により FAX・郵送でも対応します。その際、承認された方には「承認No」を同時に通知します。
- ・ 審査結果の有効期限 当年度から翌々年度まで

2. 受験料について

(1) 受験料(いずれも消費税込み)

受験区分	受験料
1級	33,000 円
2級	22,000 円
3級	8,800 円

(2) 受験料納入方法

①受験料の払込は、指定の金融機関をご利用下さい。

②入金の際の手数料は、受験者負担です。

詳細は、「デジタル個人申請マニュアル」を参照ください。

※領収証の発行はしていません。金融機関の振込み控え(利用明細)を合格発表まで大切に保管しておいて下さい。

合格者に対する**受験料補助制度**がある企業では、その申請には**受験料払込みの控え(利用明細)**が必要になる場合があるようです。これをなくしてしまうと申請が難しいと聞きますので、該当される方は特に**厳重な保管**をお勧めします。

3. 申請手続き・合格発表

(1) 申請手続きに必要なもの

①パソコン、スマホなど（インターネットに接続できること）

工業会ホームページ <https://www.kogyokai.com/> に接続し、個人申請ページから申請手続き（主に個人データの入力）を行っていただきます。

詳細は、「デジタル個人申請マニュアル」（ホームページの閲覧・ダウンロード）を参照のこと。

②顔写真のデジタルデータ

申請時に必要になりますので予め用意しておいてください。詳細は「デジタル個人申請マニュアル」に掲載。

(2) 受験申請時、提出が必要な書類がある場合の送付先

（一社）日本機械設計工業会 試験センター 宛

詳細は、「デジタル個人申請マニュアル」を参照のこと。

(3) 受験資格審査の結果通知（1級、2級）

①2級取得後の1級申請者に対しては「2級認定No」の照合により、2級申請者に対しては最終学歴・実務経験年数等に基づき、受験資格を満たしているかを審査します。受験資格を満たし受験申請を正式に受理された者には、受験票を発行し受験者に送付します。

②受験資格審査の結果、受験資格が満たされていない者には、その旨を通知し受験料を返却いたします。（返却手数料は受験者負担となります。）

※上記の受験資格審査は、1級直接受験手続の資格審査とは異なります。

(4) 受験票の取扱い

①申請者の受験票・会場案内等は、受験料納入確認後、郵便またはポストイン便にて送付します。

②受験票発行後の受験会場の変更は、原則認めません。

③受験票は、大切に保管しておき、試験当日必ず持参して下さい。

④受験票を持参しない場合は、試験を受けられない場合があります。

⑤試験に関する一切の処理は、受験票に記載されている受験番号に基づいて行われますので、受験番号は必ず控えておいてください。

(5) 合格発表

①工業会ホームページ <https://www.kogyokai.com/> の、マイページで各自合否を確認。

②後日、認定証・ライセンスカードが送付されます。

③合否に関する問い合わせには一切応じられませんので予めご了承ください。

4. 試験実施要項

(1) 試験実施日と申請受付期間

試験実施日	令和 3年11月21日（日）
申請受付期間	申請開始：令和 3年 7月20日（火） 申請終了：令和 3年 9月30日（木）
入金期限	令和 3年10月 8日（金）

(2) 受験地

	受験地		受験地		受験地
01	北海道	07	大阪	13	熊本
02	青森	08	広島	14	沖縄
03	東京	09	香川	15	山口
04	埼玉	10	愛媛	16	福井
05	愛知	11	福岡	17	静岡
06	富山	12	北九州		

※受験地は、やむを得ず変更や中止となる場合があります(新型コロナウイルスの影響などにより)。
受験地の詳細などはホームページをご確認ください。

(3) 時間割

① 1級

	時間	科目
第1時限	9:30~11:40	設計管理関連課題、機械設計基礎課題、 環境経営関連課題
第2時限	12:40~14:40	実技課題(問題選択方式)
第3時限	15:00~16:30	小論文

② 2級

	時間	科目
第1時限	9:30~11:40	機械設計分野、熱・流体分野、メカトロニクス分野
第2時限	12:40~14:40	力学分野、材料・加工分野、環境・安全分野
第3時限	15:00~16:30	応用・総合

③ 3級

	時間	科目
第1時限	12:00~14:00	機構学・機械要素設計、流体力学、工作法 機械製図
第2時限	14:20~16:20	材料力学、機械力学、熱工学、制御工学 工業材料

(4) 試験実施日当日

① 試験場に持ち込みできるもの

- ・受験票(持参必須)
- ・鉛筆(HB又はBに限定します。シャープペンシルも可)
- ・鉛筆削り(電動式は使用できません。)、消しゴム
- ・スケール、三角定規、分度器、中コンパス
- ・腕時計
- ・関数電卓(持参必須)
関数電卓を必要とする問題が出題される場合があります。但し、携帯電話、スマートフォン等の電卓機能は使用不可です。

② 当日注意事項

- ・原則、車での来場禁止。
- ・特に1・2級受験者の方は昼食持参を推奨。

【申請に関する注意事項】

- ①申請手続きは、申請受付期間内におこなってください。その他受験料入金期限など、それぞれの期限内に入金や手続きが完了していないと、申込みが無効になったり、書類不備により受験資格なし(受験料返還不可)、となる場合があるので十分に注意してください。
- ②（正式なかたちで申込みと受験料入金 completed している前提で）受験資格審査の通知結果または受験票が令和 3 年 1 0 月 2 9 日（金）までに到着しない場合は、下記までお問合せ下さい。試験実施日直前になると対応できない場合があります。
- （一社）日本機械設計工業会 試験センター TEL 03-6222-9310

主催：（一社）日本機械設計工業会

<https://www.kogyokai.com/>

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 4 号 新川エフ 2 ビルディング 4 階

TEL 03-6222-9310 FAX 03-6222-9315 k-siken@theia.ocn.ne.jp